



相愛大学 人間発達学部 同窓会報

発行所
相愛大学人間発達学部同窓会
〒541-0053
大阪市中央区本町4丁目1-23(本町学舎内)
同窓会室直通TEL&FAX (06) 6261-2040
学園代表 TEL (06) 6262-0621
E-mail: doso@soai.ac.jp

ご卒業おめでとうございます



相愛学園学園長
大谷紀美子

うな病気はほとんど無いと、私たちは思い上がっていたかもしれない。物流、人流が激しくなった昨今、必要な物や人だけが行き交うだけではないことを思い知らされました。人生の新しい局面に希望をもって立ち向かってゆか

れる卒業生の皆さんに対して、平穩であったはずの大学生生活の最後、大きな試練に立たされたことをネガティブに捉えるのではなく、ポジティブに今後の人生に生かしてくださる事を願っています。

住所・氏名等の変更について

住所・氏名等変更された場合は、相愛学園同窓会室まで葉書またはFAXでお知らせ下さい。下記の日程で短大・人間発達学部同窓会の担当者が在室しています。

- 曜日 毎週火・木・金曜日
- 時間 10:00～15:00

連絡先: 相愛学園同窓会室
〒541-0053
大阪市中央区本町4-1-23
TEL/FAX: 06-6261-2040
(FAXは24時間受付)

※学年幹事や京都・東海・関東各支部長にもご連絡下さい。個人情報保護の点からお問い合わせの際は会員特定をするために、会員番号又は学籍番号、卒業年、学科名等詳しくお尋ねしますのでご了解下さい。

学生たちは意欲的に取り組んでいます 学びを通して大きく成長



同窓会会長
栞原和加子
(昭和51年食物卒・旧姓 松村)

予期せぬ事が起こったとき、どのように対応するか、あるいは対応できるか、という能力が試されたとは思いませんか。「困った、困った」と、そして自分は何と不幸せなのだろうと嘆くか、あるいはその状態を逆手にとり新しい道を探るか、人々の反応はさまざまです。いずれにせよ私たちの経験値は通用しない場面が多くありました。今まで挫折せず調子良く人生を送ってきた者にとっては、ゆっくり考え直す良い機会と捉える訳にはいかないでしょう。これまでで幾度も踏いた経験のある者は、それなりに良い方向へと自分を導いてくれたかもしれません。

20世紀には、さまざまな病気の感染者が治癒できるあるいはコントロールできる薬や方法を獲得してきました。21世紀には恐れるよ

相愛女子専門学校・相愛女子短期大学・相愛大学人間発達学部卒業の皆様、新型コロナウイルス感染拡大で、安心・安全な生活や活動が制限され、お変わりなくご健勝にお過ごしかと心配が尽きません。大学祭の折に、同窓会を

開催する予定で企画や準備を進めていますが、残念ながら皆様にお目にかかれておりません。一日も早く日々注意して過ごし、安堵できる日常が訪れることを願うばかりです。

子ども発達学科は、昨年と同様に「相愛子どもわくわくあそび広場(以下、「わくわく」)を開催することができ、今回で8回目を迎えることができました。「わくわく」は、学生が考えた遊びや、学生のステージなど、わくわく隊学生と教職員が企画・運営を行っています。学生が手作りのパ

ズル、カーリングなどのゲームコーナーや、手遊び・おはなし劇などの学生ステージ、一万個のドミノ、ペットボトルのけん玉などのおもちゃを子どもと学生が一緒に作って遊ぶコーナーなど様々なブースがあります。各ブースの学生たちは、子どもたちのことを考え、より楽しく安全に過ごしてもらえようとして試行錯誤しました。参加した子どももわくわく隊も笑顔で、とても楽しく活動することができました。

また、「あいあい相愛おはなしのへや」(詳細は4面参照)も様々なイベントを開催しました。

発達栄養学科は、昨年に開講できなかった1回生対象の集中講義である「産官

学食育実践演習」を開講することが出来ました。「産官学食育実践演習」では、食品会社、大阪ガス、大阪中央卸売市場などに学生が訪問し、生産・加工・流通をテーマに職場見学や講義などを行っております。今年度はまた新型コロナウイルスの影響もあり訪問は大阪ガスハグミュージアムだけでしたが、大阪中央卸売市場等のご協力もあり学内でも実施することが出来ました。大阪ガスハグミュージアムでは、リモートによる館内の案内とエコクッキングを行いました。学内実施の大阪中央卸売市場では、市場についてのビデオ、株式会社ういちによる魚についての講義とクイズ、JA香川による香川の特産

品の説明と試食を頂きました。講義を受けた学生からは「食に対してより興味を持つことが出来た」「クッキングスタッフとして就職したい」という感想もありとても良い表情で参加しておりました。

また「ダイエット教室」や「大阪ガス食育推進プロジェクト」、「商品開発」なども開催することが出来ました。お弁当のコンクールでは、多くの学生が参加し、入賞もいたしました。

卒業生の皆さんは大学在学期間のほぼ半分、新型コロナウイルス感染拡大により変則的な大学生活を強いられました。新学期が始まってもしばらくは授業が行われず、やっと始まるかと思えば多くの学生・教員共に初めて経験するオンライン授業となったものもありました。機器を通しての講義は、音声にタイムラグが生じ、またスマートフォンを終始見続けることは対面授業より多くのエネルギーが必要だったでしょう。

1年もたてば通常通りの授業が出来る状態に感染症も終息するかと、多くの人たちは考えていたようです。しかし、1年目の3月には例年のようなかたちでの卒業式は行えず、4月の入学式も変則的なものでした。そして、さらにもう1年、同じような状態が続きました。

日常生活にも大きな変化が生じました。頻繁な手洗いや消毒、それによって敏感な皮膚はガサガサに荒れたかもしれません。マスクの常時着用は息苦しさに加え、夏には暑さが倍増した感じがしました。その他、大勢で集まらない、人々との間の距離をとる、大声を出さないなど数え上げればきりがありません。クラブ活動はほぼ出来なかったのではないのでしょうか。もちろん、友だち同士で食事に出掛けることや、卒業生や新入生の歓送迎コンパなども出来ませんでした。学外での友人との付き合いもいろいろと制限され、従来の意味での学生生活とは大きく異なったかもしれません。アルバイトは、職種によっては日数を減らされるか、無くなってしまうものも多かったでしょう。

今年も、同窓会を開催する予定で、企画・準備を進めております。久しくお目にかかれておりませんが、その際は多くの方の参加を、お待ちしております。そして、会員の皆様には、健やかに過ごしていただくことを心より願っております。

一度きりのキャンパス ライフを楽しむために

発達栄養学科 平成31年卒(10期生)
今宮康太郎



昨年度より、相愛大学の実験実習助手として勤務しております。主に、給食経営管理実習、調理学実習Bの授業を担当しております。

私は、相愛大学を卒業後、厨房で働くことを楽しみに委託給食会社に勤務しました。しかし、職場の雰囲気と仕事内容に違和感を感じ悩んでいました。そんな私に恩師である相愛大学の先生が声をかけてくださり相愛大学の実験実習助手として働かせていただくことになりました。まさか私が母校である相愛大学で働くことになるなんて夢にも思っていませんでした。私が相愛大学の助手になったという事は少なからず何か意味のあることだと思っております。

す。私自身はこのご縁に日々感謝をしています。

私が助手という立場になって在籍生、もしくはこれから大学生活を送る高校生たちに伝えたいことは一度きりのキャンパスライフを精一杯楽しんでほしいということです。当然ですが、世の中には勉強したくてもできない人や、栄養士、管理栄養士の免許が欲しいくても大学に通えない、大学生になりたくてもなれない人もいます。今、大学に通学できている、授業を受けることができている、同じ志を持って友人と毎日過ごすことができるという幸せを日々感じてキャンパスライフを送ってほしいと思います。また、私は日々を支えてく

れる家族や先生、先輩方への感謝を忘れません。在学時代、家族は毎日私のことを思い、学校に通うための環境を作ってくれました。先生は授業以外にも国家試験に受かるためのプランを考え、アドバイスをくれました。今から思えば当たり前のように当たり前ではない日々のサポートに感謝しかありません。その気持ちの後輩たちへ伝えていきたいと思えます。悩みがある学生には寄り添い、先生方よりも年齢が近い分、橋渡し役になれたらと思います。助手として担当している授業は前職の経験を活かすことができたり、「今まで経験したことは無駄ではなかった」とこの恵まれた環境にも感謝しています。

活躍する卒業生たち



「聴く」を心掛け、 つながりを大切にしたい

子ども発達学科 平成27年卒(6期生)
森内友梨恵



私は大阪市大正区にある大阪市立北恩加島保育所に勤務しています。大阪市より運営業務委託を受けている公設民営の保育所です。この保育所で働き始めて8年目を迎え、昨年度からは主任として働いています。

日々仕事に取り組む中でクラス運営の難しさ、専門職としての子どもの命を預かるという責任感に、悩んだこともあります。「なりたかった保育士のはずなのに... 私には向いていないのかな」と悩み、大学の先生に相談に行きました。そんな時に学生時代と変わらず、先生方が温かく迎えてくださり、悩みを聴いていただき、「よく頑張ったね」と思いを受け止めてもらい、

心に何か引がかかっていたものがスッとなくなつたように感じました。そして、子ども発達学科を卒業した友人たちも大きな支えになっていきます。学生時代から仲が良く、卒業してからもよく集まり、近況を報告しあいながら励ましてくれました。このように、今の私があると感じています。

大学で学んだことを振り返ると、すぐに保育現場で生かせる指導案や手遊びなどがたくさんあり、日々の保育に取り入れて子どもたちと楽しく活動しています。また、オンラインキャンパスやイベントなどの学生スタッフとして参加しました。この経験は実践的

に学ぶことができ、座学だけでは学べないことだと思えます。このような大学での経験が、保育士としての仕事につながっています。

私が普段から大切にしていることは、「聴く」ということです。これは、一人一人丁寧に向き合い、子どもの思いに耳を傾け、それに共感し、寄り添うことです。そして、子どもだけでなく、保護者や保育所に勤務する職員の話も「聴く」ことも心がけています。私が話を聴いてももらって前を向けたように、私自身も人との「つながり」を大切にしながら、子どもたちと過ごす一日一日を大切にしていきたいと思えます。

関東支部

新型コロナウイルス感染拡大の不安の中、新しい年が始まりました。会員の皆様におかれましては何かお過ごしでしょうか。

2年続けて同窓会が中止となり、思うように活動ができませんでしたが、この間に住所不明で連絡不可の方が5名、そしてお亡くなりになられた方が5名いらっしゃいました。その中には令和元年まで活躍いただいた前関東支部長様も含まれており、幹事一同悲しく、寂しい思いでいっぱいしております。

支部長 天貝 千代美



同窓会活動が再開できることを祈って

今年も昨年に続き総会は中止に致しました。コロナ終息にはまだまだ時間がかかるようですが、ウィズコロナですね。

東海支部

同窓会総会 集える日を願って

今年も昨年に続き総会は中止に致しました。コロナ終息にはまだまだ時間がかかるようですが、ウィズコロナですね。

28回目の総会もどのような状況になるのか分からず皆様には大変申し訳ありません(25回目から2年

支部長 星野 滋子

京都支部

コロナ禍での過ごし方を思っ

高齢者は外に出歩く事を恐れ、必要不可欠な場合を除き家の中でこまごまとした片付けや物作り、読書のほか、テレビの鑑賞がほとんどではないでしょうか？

友だちとのお茶を飲む事もはばかられる日が長く続き、やっとコロナも罹患者が減る状況になりやれ嬉しいと思ったのも束の間、また変異株が出て来て若者たちの間

高年齢者は外に出歩く事を恐れ、必要不可欠な場合を除き家の中でこまごまとした片付けや物作り、読書のほか、テレビの鑑賞がほとんどではないでしょうか？

小さな庭に春先の花の苗を買って来て植えたり、植木鉢の買い替えに汗を流したり手の平の上で動

支部長 竹原 和

人間関係部会

健康であればなんとかなる



内モンゴル自治区の教え子を訪ねた時です。

相愛女子短期大学退職後3年間、広州市の私立大学で日本語教師をしており、その後郷里に戻り大分県に住んでいます。令和2年7月に大分県北部豪雨で玖珠川が氾濫し、自宅一階が全壊し、第一報を入れた両親は、私が流されていなくてよかったと安堵してくれました。散水車による水撤き、50人以上のボラ

ンティアさんのお陰でいいなり感謝で涙が出ました。未だ自宅に戻れず、二階に住むには一階の補強が必要と建築士の診断でわかり、秋には解体します。コロナ禍で忙しくなられた方の御冥福をお祈りしますとともに、一日も早い収束を祈ります。私の災害は、健康であればなんとかなるものです。今、高齢の両親と暮らし、小学校の学習支援員で慣れない仕事ではありますが、それはそれで良い時間を過ごしております。

権藤 良子

食物部会

『かぼちゃの会』の活動再開を願って

食物部会『かぼちゃの会』の活動を今年も自粛する事になりました。昨年末頃は新型コロナウイルス感染者も少なく、今年も開催出来るのではと楽しみにしていましたが、この原稿を書いております1月現在はオミクロン株による第6波とみられるほど感染者数が激増しており、とても『かぼちゃの会』を開催出来る状況ではありません。この会報が皆様のお手元に届く5月にはコロナ禍も終息して、次年度こそ活動が再開できますように願っております。

会長 小林 貴美子



2019年6月6日(木)『かぼちゃの会』中之島にあるコンラッド大阪のC:GRILL (シーグリル)で。

被服部会

収束する日まで、がまん、我慢

会員の皆様におかれましては、つつがなくお過ごしのことと存じます。

新型コロナウイルスも次々に変異を繰り返して、早くも足掛け3年になろうとしています。この間、何度も緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置の発出があり不自由を強いられて、皆様におめもじ叶うこともままならず、悶々とした日暮をいたしております。いつになりましたら、心置きなく笑える日が訪れますでしょうか。とは申しませんが、必ずや平穏な日常が近いうちに戻って来る、と心待ちにしております。



※2022年1月14日、万全の予防策を取り役員会を開きました。数件の懸案事項がございましたが、全て先送りする事を確認いたしました。

その折には、またバスツアーも再開できることでしょうか。今しばらくお待ちくださいませ。きっと以前にもまして嬉しさも、楽しさも増していることと存じます。

会長 西尾 洋子

国文部会

国文部会研修会 中止のご案内

国文部会の会員の皆様、長らく続くコロナ禍の中で、ご無事にお過ごし頂いておりますことと存じます。

昨年、一昨年と楽しみに、

心待ちにして頂いていた研修会を開くことが出来ず、本当に申し訳なく残念に思っております。

そして、本年もいまだに病魔が治りそうもありません。誠に申し訳ないのですが、令和4年度の研修会も、中止させて頂きたく存じます。

コロナが一日も早く終息して皆様と研修会でお会い出来る日が来ることを、幹事一同願っております。

会長 新谷 美子

英米語部会

再出発を目指し

英米語学科・コミュニケーション学科の同窓生の皆さま、早いものでまた一年が経ちました。コロナ禍という理由もございしますが、同窓会活動ができていないこと、ただただ申し訳なく思っております。こんな時こそ「会員相互の親睦」を深めたいと思っております。現状はまだ厳しいですが、今回のコロナ禍を原点に再出発の好機と捉え、皆さまと集える会を現実化できるよう同窓会の認知度も高めていかなければなりません。実際どれだけの人がこの会報を読んでいただいているかも分かりません。まずはお友だちに「会報が毎年発行されているけど知っている？」と聞いてみてください。皆さんと共に再出発できるようにご支援賜りますようお願い申し上げます。

会長 古川 真理子

〈連絡先〉古川 真理子(旧姓 谷)H4卒
hachihiko@ezweb.ne.jp

ファミリー入試のお知らせ

人間発達学部ではファミリー入試制度を設けております。4親等以内の親族の方が相愛学園の卒業生もしくは在学学生で、本学の建学の精神を理解している方であれば受験することができます。

試験日

前期 | 2022年11月23日(水・祝)
後期 | 2023年 2月26日(日)

★身近に保育・教育分野、栄養分野に進学をお考えの方がおられましたら是非ご紹介ください。詳細は大学ホームページをご覧ください。

第17回 同窓会総会・懇親会

本町学舎で卒業された会員の皆様と、南港学舎に移り卒業された相愛女子短期大学・相愛大学の皆様の同窓会です。

2022年
10月30日(日)

11:00~14:00
相愛大学 南港学舎5-112

プログラム

11:00~ 受付
11:30~12:00 総会
12:00~14:00 親睦会



当日は、大学祭も開催しておりますので、学生気分に戻ってお楽しみ下さい。お子様も大歓迎!!総会、親睦会にもどうぞご家族と一緒に参加下さい。

相愛大学
大学祭

10月29日(土)・10月30日(日)に
南港学舎で開催されます。

※中止の場合はホームページにてご連絡致します

発達栄養学

相愛大学&大阪ガス 食育推進プロジェクト



発達栄養学では大阪ガスと連携し「パットとできる!大阪産を使った健康・時短・Let's!和ごはん」という食育推進プロジェクトを行っています。

管理栄養士を目指す発達栄養学の学生が調理のサポート、「栄養・食の情報」についての学生レポなどを行い、10月3日、10月6日、10月20日の計3回開催いたしました。

学生レポでは、毎回学生が決めたテーマについてパワーポイントを使用し、発表をしております。10月3日は「食品ロスを減らそうSDGS12を実践」、10月6日は「機能性表示食品」、10月20日は「骨・歯を守る伝統料理の利用」をテーマに発表し、参加者の皆様は熱心に聞いて下さっておりました。調理実習では1テーブル2名または3名で各自が自分の分のみ調理し、各テーブルに学生が1人サポートとして入っていました。学生は参加者の方々とコミュニケーションを取り楽しそうに調理実習を行っていました。学生レポ・調理実習においても人に何かを伝えるということ、学生にはとても良い経験になったと思います。

調理・学生レポだけでなく、JAグループ大阪による大阪産の野菜についてのお話、骨密度や体組成の測定もすることができました。骨密度や体組成の測定では、結果から管理栄養士の先生から栄養面でのアドバイスもいただきました。



まだコロナ禍であり自粛期間も続いておりますが、なんと令和3年で8年目を迎えることが出来ました。新型コロナウイルスによる感染症対策を一層強化し、来年度も実施できることを願っております。

発達栄養学では大阪ガスと連携し「パットとできる!大阪産を使った健康・時短・Let's!和ごはん」という食育推進プロジェクトを行っています。

子ども発達学

6年目を迎えた「あいあい相愛おはなしのへや」

子ども発達学と住之江区役所の協働プロジェクトとして平成28年3月に開設された「あいあい相愛おはなしのへや」(以下「あいあい」)は、6年目を迎えました。「あいあい」は、おはなし隊(学生・教職員)が、絵本や大型絵本、パネルシアター、ペープサート、紙芝居、おはなし劇などさまざまなスタイルでおはなしを上演し、子どもと保護者が一緒に楽しむ活動です。おはなし隊は主に2〜4回生の学生です。毎回おはなしの選定や練習、リハーサルと時間をかけて準備し、本

「つながり」を大切にする場所



手話『ともだちになるために』のようす

番に臨みます。このような実践を通して主体的・対話的で深い学びを実現し、先生活力の向上を図っています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、第1回を7月29日、第2回を12月11日に開催しました。第1回は久しぶりの開催だったこともあり、子どもたちが「楽しみ!」と、元気いっぱいに部屋へ入ってきて、おはなし隊の学生たちもとても嬉しそうでした。第2回では、新たな試みとして曲に合わせて手話を行い、みんなで一緒に楽しみました。客員教授の中西利恵先生をアド

バイザーとしてお招きし、保護者の方に、おはなしを通じて子どもと対話することの大切さをご講話いただきました。さらに、この日はおはなし隊出身の卒業生が子どもを連れて参加してくれました。学生時代に実践した演目を懐かしみながら親子で楽しみ、現役おはなし隊にもエールを送ってくれました。

今後も地域の方々や卒業生と学生が「つながり」を大切にできる場所の一つとして、「あいあい」を開催していきたいと思っております。

編集委員 (50音順)

- 今宮康太郎 西尾 洋子
- 江國 和史 服部由利子
- 河畑かなえ 福井 千尋
- 栗原和加子 古川真理子
- 小林貴美子 堀野 成代
- 新谷 美子 曲田 映世
- 寺川 舞 吉川 歩

編集後記

昨年に続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため同窓会総会・懇親会が中止となりましたが、大学祭では、講堂にて1回生・2回生へのクラブ紹介を行いました。

各支部の同窓会が中止となる中、同窓会報の発行にご尽力くださいました皆様に深く感謝致します。この状況が早く終息へ向かいますこと、皆様のご健康をお祈り申し上げます。

追悼

相愛女子短期大学名誉教授 小原国彦先生を偲んで

令和3年4月12日、相愛女子短期大学名誉教授の小原国彦先生が享年100歳で逝去され、告別式はご家族様のみで執り行われました。

先生は昭和38年4月に、相愛女子短期大学生活学科食物専攻の食品分野教員としてご着任され助教、教授として定年を迎えられるまで、多数の学生をご指導くださいました。

先生から賜りましたご指導とご厚志に心から深く感謝申し上げますとともに、先生のご遺徳を偲び、謹んで冥福を念じあげます。

合掌 栗原 和加子

物故者名 (敬称略) (令和3年度届)

※掲載は、ご家族の承諾を得た場合のみとさせていただきます。

	卒年	氏名	旧姓	忌日
女専	S14	井上 澄子		R3.5.13
	S14	墨谷 華	宮南	R2.5.22
	S19	高田 芳子		R3.1.12
国文	S29	遠藤 泉	山内	H26.5.25
	S32	田村 京子	大野	R2.3.1
	S52	稲葉美紀子	川辺	R2.9.4
	H11	本田由紀子	村田	R2.11.23
	H11	金光 理美		R2.11.6
	S22	辻本 敦子	近藤	R2.12.8
被服	S24	杉本 緑		R3.3.8
	S31	灰谷 桂子	小室	R2.12.25
	S33	古川夫佐子	中	R3.1.13
	S35	高橋 英子	藤川	R2.12.19
	S39	木村 郁代	森	R3.2.21
	S39	荻野 満子	栗原	H11.9.12
	S40	北田 宏子	朝田	R2.7.11
	S53	溝川 尚子	吉見	R2.12.12
食物	S22	小竹 穎子	長沢	R2.9.14
	S22	岡本 淑子	半田	R1.10.13
	S24	井上 和子	門田	H31.1.30
	S25	新井 弘子	井上	R2.9.18
	S31	南方千代美	中出	H27.3.15
	S35	田中 暎子	酒井	R2.10.20
	S45	益田 悦子		R2.7.25
S47	武田久美子	岡野	R1.8.21	

過去帳納め

同窓会にお知らせがあった物故者のお名前を毎年2月に、大谷本廟の学園関係者過去帳に記入しお納めさせて頂いております。

